**１　内航海運の現況**

　　(1) 内航海運登録事業者数等

　　　 管内の内航海運事業者数は、第１図のとおりである。

第１図　管内の内航海運事業者数の推移（各年度末現在）

(2) 法人・個人別事業者数

　 管内の法人・個人別の登録事業者数は、第１表のとおりである。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 |
| 内航海運業登録事業者数 | １８４（１１） | １７９（９） | １７０（８） | １６７（８） | １６７（８） |

 　（　　）は個人事業者数で内数

(3) 船種・船型別船腹量及び隻数

　 令和３年度末の管内の所有船舶の船種・船型別船腹量及び隻数は第２表のとおりである。

　　第２表　船種・船型別船腹量及び隻数　（令和４年３月末現在）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 船腹量区分及び隻数 | 貨物船 | 土・砂利・石材　　　専用船 | セメント専用船 | 自動車専用船 | 油送船 | 特殊タンク船 | 合　計 |
|
| 100G/T未満 | 船腹量（G/T） | 1,661 | 150 | 0 | 0 | 356 | 0 | 2,167 |
| 隻数(隻) | 59 | 2 | 0 | 0 | 6 | 0 | 67 |
| 100～499G/T | 船腹量（G/T） | 60,014 | 15,557 | 0 | 0 | 9,671 | 864 | 86.196 |
| 隻数(隻) | 168 | 34 | 0 | 0 | 26 | 2 | 234 |
| 500～699G/T | 船腹量（G/T） | 6,552 | 0 | 0 | 0 | 1,100 | 1,226 | 8,878 |
| 隻数(隻) | 11 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 15 |
| 700G/T～ | 船腹量（G/T） | 77,304 | 8,218 | 9,957 | 0 | 25,393 | 6,949 | 127,821 |
| 隻数(隻) | 35 | 5 | 1 | 0 | 7 | 3 | 51 |
| 合　計 | 船腹量（G/T） | 145,531 | 23,925 | 9,957 | 0 | 36,520 | 9,039 | 225,062 |
| 隻数(隻) | 273 | 41 | 1 | 0 | 41 | 7 | 363 |

(4) 自家用船舶使用届出状況（100総トン以上）

管内の自家用船舶の使用届出状況は、第２図のとおりである。

　　第２図　管内の自家用船舶使用届出状況 （各年度末現在）

(5) 内航海運業地区別登録事業者分布状況

管内の内航海運業地区別登録事業者分布状況は、第３図のとおりである。

第３図　管内の内航海運業地区別登録事業者分布状況（令和４年３月末現在）

**２　貨物利用運送事業の現況**

 管内の貨物利用運送事業者数は、第４図のとおりである。

（ただし、内航運送及び外航運送に係る第一種貨物利用運送事業者に限る。）

第４図　管内の貨物利用運送事業者数の推移（各年度末現在）

**３　港湾運送事業の現況**

1. **港湾運送事業者数・許可数**

管内の指定港湾各地における許可数及び店社数（事業者数）等の推移は第５図から第７図のとおりである。

第５図　管内の港湾運送事業者の許可数及び店社数の推移　　（各年６月１日現在）



第６図　管内の検数・鑑定・検量事業者の店社数と許可数の推移　　（各年６月１日現在）

 注．検数・鑑定・検量事業については全国一律許可



第７図　管内の港湾運送関連事業者の店社数と届出数の推移　　（各年６月１日現在）



 **(2) 港湾運送実績**

 　※（　）内％は対前年度比を示す

管内の港湾運送事業法の指定港である神戸港、尼崎西宮芦屋港、姫路港及び東播磨港の船舶積卸実績は、第８図から第１１図のとおりである。

神戸港における令和３年度の総取扱貨物量は、８５，２６０千トン（１１０．２％）であった。品目別では、コンテナ貨物７０，９９８千トン（１０８．８％）、石炭３，０１２千トン（１２８．８％）、自動車２，５０９千トン（１０６．９％）、鉄鋼１，９５９千トン（１１８．６％）となっている。

第８図　神戸港船舶積卸実績の年度別の推移



尼崎西宮芦屋港における令和３年度の総取扱貨物量は、２，９１５千トン（９７．６％）であった。品目別では、自動車１，４７５千トン（９５．１％）、鉄鋼８８５千トン（１０５．８％）、金属くず１５３千トン（１１３．６％）の３品目で全体の約９割を占めている。

第９図　尼崎西宮芦屋港船舶積卸実績の年度別の推移



　　　　　　　　（※R2年度のデータに誤りがありましたので修正を行いました）

姫路港における令和３年度の総取扱貨物量は、１０，４０４千トン（１１８．８％）であった。品目別では、鉄鋼５，７２９千トン（１２１．３％）、石炭１，４５５千トン（８７．１％）、金属くず１，１０８千トン（１３７．０％）の３品目で全体の約８割を占めている。

第１０図　姫路港船舶積卸実績の年度別の推移



東播磨港における令和３年度の総取扱貨物量は、３０，３４７千トン（１１０．４％）であった。品目別では、金属鉱１１，３０８千トン（１１２．０％）、石炭６，９２７千トン（１０５．７％）、鉄鋼５，５９０千トン（１０５．３％）の３品目で全体の８割を占めている。

第１１図　東播磨港船舶積卸実績の年度別の推移



はしけ稼働実績は、第１２図のとおりである。神戸港における令和４年３月末現在の港運はしけ保有状況は、計１０９隻５８，３３９積トンであり、令和３年度の輸送実績は７３０千トン（９５．５％）であった。

第１２図　管内のはしけ稼働実績の年度別の推移



各港別の沿岸荷役の実績は、第１３図のとおりである。管内における令和３年度の沿岸荷役実績は８８，８２４千トン（１０２．８５％）であった。

第１３図　管内の沿岸荷役実績の年度別の推移



 **(3) 港湾労働者の現況**

 神戸港の常用港湾労働者数は、令和４年３月末における港湾労働法上の届出数で５，４３７人（対前年同月比９８．５５％）であった。

第１４図　神戸港における港湾労働者数（常用）の推移（各年度末現在）



（資料）神戸公共職業安定所